

男騎士が

「くっ殺せ！」

いと言ふあたり

故珍子

ヌメ調教

としてみた

成年
コミック

第5話

俺の親父は
ただの田舎の
木こりだ

若い頃に
新国王の「鬼退治」に
参加したらしいが

帰ってきてからは
塞ぐことが
多くなり
酒の量も
増えたらしい

でも俺は親父が
酒の席で
話してくれる
勇猛果敢な
騎士たちの話が
大好きだった



俺も
大きくなったら
鬼退治の
勇者になる！



俺は山で
森をかけぬけ
葉を斬って

自己流の修行を
しているうちに…



街の少年
剣術大会で
優勝！



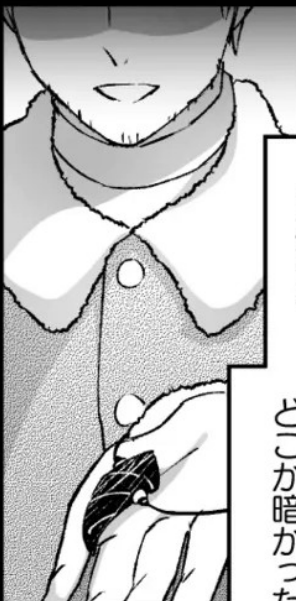
王都の
大会でも
優勝！



俺は騎士の
養成所に
入ること
になった

親父は
角をくれて
激励して
くれたが

その表情は
どこか暗かった



親父は
俺が家を出て
間もなく

酒を飲んで
馬車に
撥ねられて
しまった

今考えると
親父は
「鬼退治」を
後悔してたん
だと思う

騎士養成所でも
俺は同年代には
負け知らずで

姫とも
仲良くなり

田舎の
生活って
いいですねー

姫の騎士団
創設のときに
団長に
抜擢された

俺!!

…だが…

田舎者が

何の血統も
ないくせに

どうやって
姫に取り
入ったんだ

大丈夫だ…

俺は親父の…
「鬼退治の勇者」の
血を引いている…!

そうだ!
もし俺が
鬼を
退治したら…

きっと誰も
文句を
言わなく
なる!

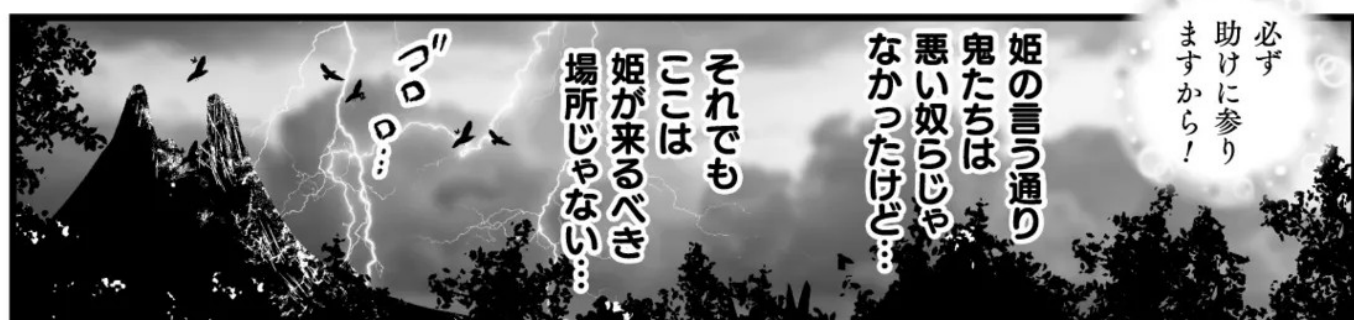
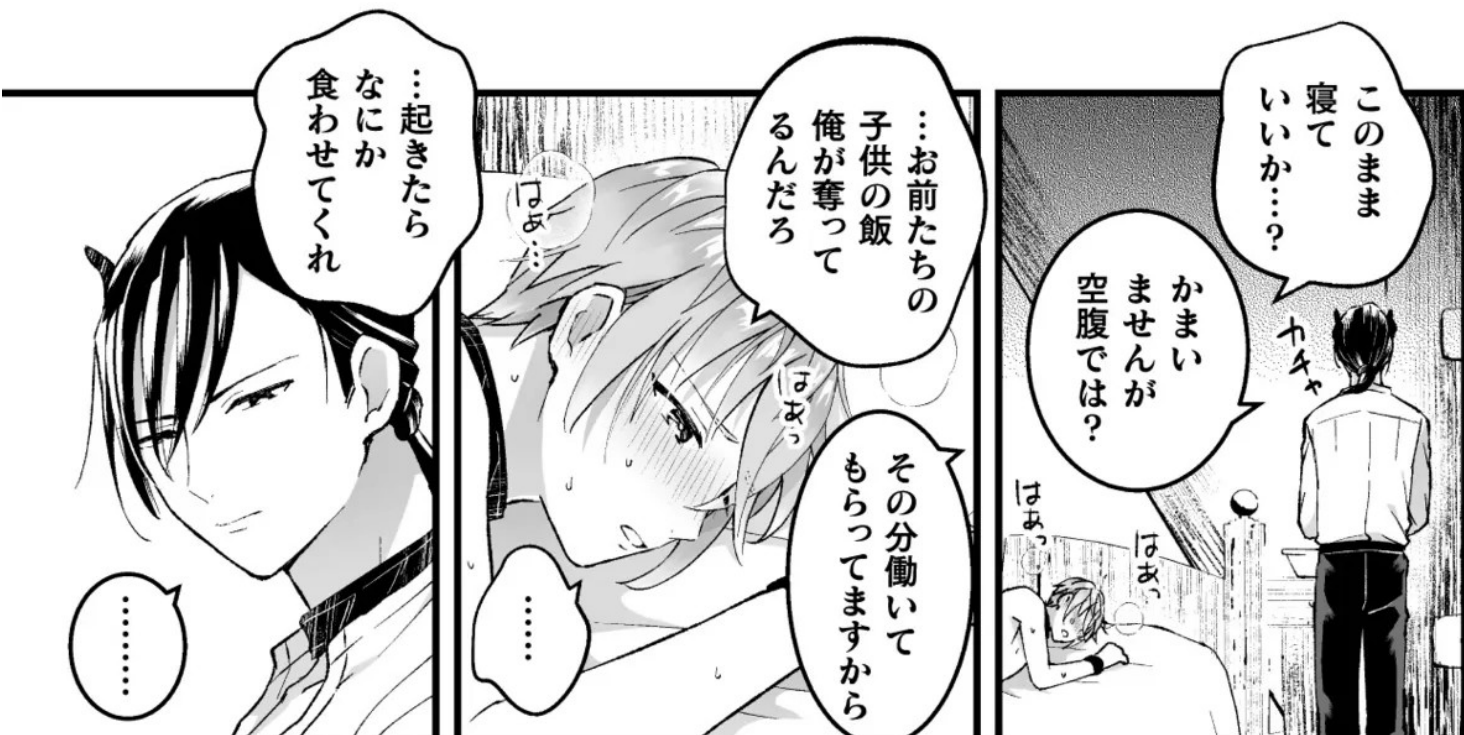
そして
鬼の使い魔が
姫の周りを
うろつき始め

俺は姫の身代わりに
鬼の国へ行つて
鬼退治をすることを
思いついた

姫も守れるし
鬼退治もできるし
一石二鳥だ

そして俺は
鬼に敗けた







長旅
お疲れ様
です

デモナランド
私は鬼の国宰相の
マルヴァルメータ

「宰相」
だってさ

本当の
「国」じゃ
ないのにな

ペアシユ国
プレソ姫の
騎士団だ

人質の無事を
確認したい

我々は書状で
「交渉する権限を持つ
要人を連れてくるように」
とお伝えしたはずですが？

騎士
…それは…









なにも
しないより
マシでは？

んっ!♡

んっ!♡

んっ!♡

んっ!♡

それとも
団長殿を
見捨てますか？



副団長！
鬼の言うことを
聞く必要
ありませんよ！

鬼を倒して
団長を
取り戻し
ましょう！

姫の命令で
手出し
できないと
言ってる
だろうが！

このままじゃ
団長が…！

駄目だ！



鬼の世界じゃ
「お願いします」
って意味
なんだよ！

団長っ！

んっ!!

しっかり
おっ建てん
じゃねーか！

んっ！

んっ！

スリ！

スリ！



鬼たちは
悪い奴じゃ
ない！

皆本当は
いい奴ら
なんだ！

ペアシユ国と
交渉したいのも
仲間たちを
守りたいからだ！

王都に伝令を
送ってくれ

鬼たちに
チャンスを作っ
て
やってくれ！

頼む……！

快楽に
堕ちて敵に
寝返るとは

騎士に
あるまじき姿

え……？

団長……

……









皆国へ
戻ろう

姫には
「団長は
ペアシユ国を
裏切った」と
伝えよう

!!
そんな!

せめて
「死んだ」と...



俺が「鬼に殺された」ということになれば
それがまた「鬼退治」の
きっかけに...!



見られた...

精液便所
の姿...

くそ...団長
エロいな...

俺も団長と
したい...

俺前から
団長のこと...



っ...



...ロゾ
小屋に戻り
ましょう

...待ってくれ
まだ...

追いかければ
まだ...

...祖国に
貴方の
居場所
ありますか?



俺は
「裏切り者」
...!?

ま...

待ってくれ...
皆...

ギィ...



待って
ください！

騎士様！

バ
ン

プレス・
ドウラズロ
ペアシユです！

到着が遅れて
申し訳
ございません…！

トキ

トキ



姫…!?

騎士様を
助けに
参りました!

騎士様は国を
裏切るような
お方では
ありません!
どうか事情を
お聞かせ
ください…!

To Be Continued

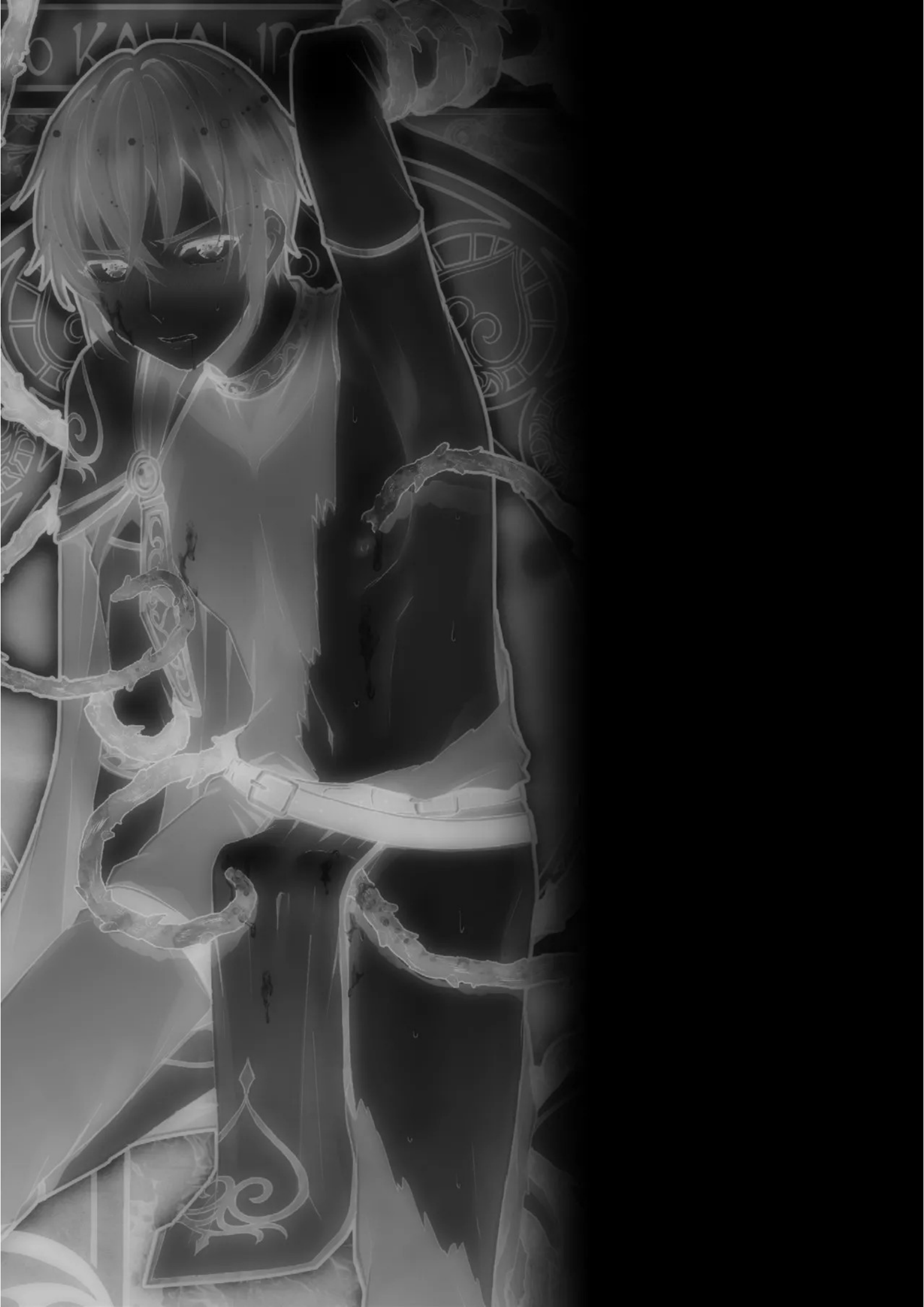




Illustration by 故珍子

「男騎士が「くっ、殺せ！」っていうからメス調教してみた」

©故珍子